



平成25年度 補助事業実績報告書

平成26年4月25日

函館市長 工藤 壽樹 様

補助事業者 住 所 〒040-0054
(電話番号) 函館市元町33番14号
団体名 (0138) 27-
代表者氏名 函館シンガポール
会長 松川

補助事業の名称 シンガポール「エクスペリアンス・アワード」受賞者との交流事業

平成26年1月31日付け函企国をもって補助金の交付の決定を受けた上記の補助事業は、平成26年3月31日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金交付決定通知額	金	200,000	円
補助金領収済額	金	200,000	円
補助金等領収未済額	金	0	円

(注) 1. この様式は、国際交流団体等が規則別表(1)から(4)までおよび(6)に掲げる補助金の実績報告をする場合に使用すること。

共通第3号様式（第3条第2項、第13条第2項）

補助事業実績書

補助事業の名称	シンガポール「エクスペリアンス・アワード」受賞者との交流事業
実施期間・期日	平成26年2月10日 ～ 平成26年2月14日
実施場所	函館市内各所
主催者・共催者 および後援者等	函館シンガポール協会、(一社)函館国際観光コンベンション協会 シンガポール政府観光局、市内協賛企業
事業者の概要	設立年月日 平成4年7月9日
	構成人数 個人67名、法人56団体、合計123団体・個人
	団体の目的・主な事業 1 両国の相互理解・親善に必要な集会等の開催。 2 両国の経済、文化、教育、技術等の相互協力に対する援助。 3 来日シンガポール人との交流ならびに便宜の供与。 4 目的を同じくする国内、国外団体との連絡・情報交換。 5 その他、本会の目的を達成するために必要な事業。
参加人数	シンガポール関係者12名
	うち外国人参加人数10名
補助事業の内容	シンガポール政府観光局によって表彰された「エクスペリアンス・アワード」受賞者と函館シンガポール協会会員との交流会の開催や、函館市表敬訪問のほか、函館白百合学園訪問による学生との交流事業を行うなど、函館とシンガポール両国の友好親善が深まった。
補助事業実施による効果	シンガポール共和国との交流を通して、両国の相互理解とともに国際親善が深まった。観光業界のスペシャリストである「エクスペリアンス・アワード」受賞者の継続的な函館への受け入れにより、両国のサービス、ホスピタリティを学ぶとともに、国際交流のより一層の促進を行った。
備考	

- (注) 1. この様式は、国際交流団体等が規則別表(1)から(4)までおよび(6)に掲げる補助金の実績報告をする場合に使用すること。
2. 主催者、共催者および後援者等については、それぞれ具体的に記入すること。
3. 補助事業の内容は、具体的にかつ詳細に記載すること。(別紙でも可)

共通第4号様式（第3条第2項、第13条第1項）

補助事業収支決算書

収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
自己資金	241,000	186,900	△54,100	
分担金	573,000	411,000	△162,000	
函館市補助金	200,000	200,000	0	
合 計	1,014,000	797,900	△216,100	

支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
記念品代	62,000	40,520	21,480	
旅費・滞在費	902,000	751,400	150,600	
事務経費等	50,000	5,980	44,020	
合 計	1,014,000	797,900	216,100	

収支差引額 0 円

- (注) 1. この様式は、国際交流団体等が規則別表(1)から(4)までおよび(6)に掲げる補助金の実績報告をする場合に使用すること。
 2. 収入の部・支出の部別業でも可。
 3. この様式では項目と金額のみを記入し、項目ごとの積算内訳等詳細については別添の「決算額内訳一覧」に記入し提出すること。

決算額内訳一覧

(収入の部)

(単位：円)

項 目	決 算 額	積算内訳	備 考
自己資金	186,900	函館シンガポール協会 186,900円	
分担金	411,000	シンガポール政府観光局 411,000円 函館国際観光コンベンション協会 別途負担	別紙参考資料(1)
函館市補助金	200,000		
合 計	797,900		

- (注) 1. この様式は、第3号様式「収支決算書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
この様式に準じたものでも可。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。

決算額内訳・伝票NO一覧

(支出の部)

(単位：円)

項目	決算額	積算内訳	備考
記念品代	40,520	土産代 40,520円	伝票⑫
旅費・滞在費	751,400	バス代(5日間) 231,000円 宿泊費 180,000円 飲食代(はこだてビール) 60,000円 (@5,000×12名) 飲食代(東京庵) 7,500円 (8名分) 飲食代(いか清) 60,000円 (@5,000×12名) 飲食代(ぎょくらん) 7,750円 (8名分) 飲食代(まるかつ水産) 40,000円 (@5,000×8名分) 飲食代(リバージュ) 14,050円 (8名分) 飲食代(ホテル函館ロイヤル) 48,000円 (@6,000×8名分) 霧氷体験 12,000円 スノーモビル・わかさぎ釣り体験 19,300円 サンドブラスト体験 12,800円 着物着付料 20,000円 タクシー代 3,000円 飲食代(北前船) 24,000円 (@2,000×12名) 飲食代(いかいか亭) 12,000円 (@3,000×4名)	伝票① 伝票② 伝票③ 伝票④ 伝票⑤ 伝票② 伝票⑥ 伝票⑦ 伝票② 伝票⑧ 伝票⑨ 伝票③ 伝票⑩ 伝票⑬ 伝票② 伝票⑥
事務経費等	5,980	・カイロ、新聞代 2,194円 ・振込手数料(8件) 3,786円	伝票⑪
合計	797,900		

- (注) 1. この様式は、第3号様式「収支決算書」を説明する添付書類として必ず提出すること、この様式に準じたものでも可。
 2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
 3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。